

オペラ・ブーフ エトワール

Opéra bouffe "L'Étoile" (星占い)

全3幕 歌唱仏語
台詞日本語上演
字幕付

作曲: エマニュエル・シャブリエ
Emmanuel Chabrier

台本: E.レテリエール & A.ヴァンロー
Eugèn Leterrier & Albert Vanloo



指揮
飯坂 純



演出
八木 清市

日本ではあまり上演機会のない秀逸な作品を取り上げ、日本におけるオペラの歴史に新たな頁を書き加えて通算104回目の定期公演。東京オペラ・プロデュースは今まで以上に文化社会に貢献すべくNPO法人格を取得し、設立45周年の今年度、更に勢いを増し、活動を継続してまいります。

その記念すべき年の第1弾「エトワール(星占い)」は、フランスの作曲家 E.シャブリエによる1877年の作品。11月28日にパリ・ブーフ・パリジャン劇場のオープニング公演にて初演され大成功を収めました。50回を超えるとシャブリエに払う報酬アップの契約のため残念な事に48回で終了。当時大流行したオペレッタの形式で作られましたが、実際はオペラコミックで難度の高い演奏が要求され、歌手やオーケストラを悩ませたという記録が残っています。シャブリエは53歳の生涯で大半を政府職員として過ごし、音楽家としての才能を開花させたのは40歳を超えてからという稀有な経歴の持主で、そのため作品数も決して多くはなく、大きくフューチャーされる事がなかった作曲家です。しかし彼はモネやマネ、セザンヌなどの画家と親交深く、奏でられる音楽は色彩豊かで、フランス印象派の絵画を鑑賞しているような錯覚に陥ります。近年パリのオペラコミックを初め、当団でも2009年に取り上げ、世界各地でリバイバル上演が盛んになっております。今上演では話の筋をわかりやすくするため、台詞を日本語に歌唱を原語(フランス語)で、字幕を使用いたします。今回のタクトには前回エトワール公演で指揮者デビューを果たし、その後、当団の多くのオペラを多く指揮し、経験を積んだ飯坂純を起用、色彩美溢れる舞台創りに期待がかかる八木清市を演出に、新人と実力派の歌手陣をバランスよく組み合わせ、ウイット溢れる楽しい舞台をお楽しみ頂きたく、是非ともご来場を心よりお待ちしております。

★Cast★
9/14
(土)



ラズリ
翠 千賀



ラウラ王女
羽山 弘子



ウーフィ世
上原 正敏



シロコ
峰 茂樹



エリソン
羽山 晃生



アロイス
前坂 美希



タピオカ
島田 道生



オアジス
辰巳真理恵



ユーカ
八木下 薫



アスフォデル
永井 千絵



ツニア
福田 弥生



ククリ
高山 美帆



アドゥザ
末広貴美子



警視総監
岡戸 淳

★Cast★
9/15
(日)



ラズリ
醍醐 園佳



ラウラ王女
江口 二美



ウーフィ世
青柳 素晴



シロコ
米谷 毅彦



エリソン
西塚 巧



アロイス
岩崎 愛



タピオカ
高橋 拓真



オアジス
萩原 理香



ユーカ
小澤美咲紀



アスフォデル
鈴木美也子



ツニア
渡邊絵美子



ククリ
手嶋久美子



アドゥザ
宮崎 陽子



警視総監
白井 和之

あらすじ

国王ウーフィ世は自らの誕生日に行う恒例行事、「串刺し刑」の罪人を探しに街へ。国民は既に周知し、罪を犯さぬよう王をわざと褒め讃える。困り果てた王は天文学者に相談するため広場を去る。そこへ商人に変装した隣国の大使が、王女、大使の妻、秘書官を伴って宿に入る。一方、行商の若者ラズリは、一目惚れした美女を追ってきたが見失う。王女達は寝ているかわいいラズリを見つけ、くすぐって起こす。目覚めたラズリは、探していた美女が目の前にいて大喜び。名前を尋ね愛の告白をしているところを大使に見つかり、私の妻に話かけるなどいって彼女を連れ去る。再び変装した王が意気消沈のラズリにしつこく本国王の評判を問うので、自暴自棄になったラズリは王に平手打ちをしてしまう。王は罪人が見つかったと大喜び、だがシロコがその若者と王とは同じ天命で、殺せば王自らも後を追うことになるかと告げる。王は急遽、刑を取り止め、ラズリを王宮に招くが…

《上演会場》新国立劇場 中劇場

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 TEL.03-5351-3011

新宿駅より京王新線「初台駅」下車徒歩1分

